

科目名	英語	英文表記		English	2014/3/5		
科目コード	3003						
教員名: 名嘉山リサ、鈴木健					作成		
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科		3年	必	履修	2単位	演習	通年
科目目標	英文多読を更に継続することで自律的な学習態度を確立し、YL(読みやすさレベル)1.8程度の図書を読めるようにする。また、基礎的な英語構文を学習し、多読と併せてTOEICのリーディング部門に対応できる基礎的読解力を身につける。						
総合評価	前期・後期評価: 定期試験の平均45% + TOEIC IP テストリーディング部門20% + 読書語数及び内容10% + プレゼン10% + 読解小テスト15% 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	毎分100語程度の速度でYL(読みやすさレベル)1.8程度の平易な物語文などを読み、その概要を把握できるようにし、TOEICのリーディング部門に対応できる基礎的読解力を身につける。		⇒	達成度を小テスト、後期期末試験、外部試験(TOEIC IP テスト リーディング部門)で評価する。	50%	
	②	中学校で既習の構文を定着させ、高等学校学習指導要領に示されているレベルの構文を習得する。		⇒	理解度を前期中間、期末試験で評価する。	30%	
	③	英文多読を更に継続することで自律的な学習態度を確立し、授業内外において、前期は週に5000語以上、後期は週に6000語以上(夏休みを含め年間18万語以上)読めるようにする。		⇒	達成度を読書記録手帳の記録結果で評価する。	10%	
	④	前もって準備をすれば毎分100語程度の速度で約2分間の口頭説明ができるようにする。またその内容を聞いて理解できるようにする。		⇒	達成度をプレゼンテーションで評価する。	10%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	◎	○	○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		45	15	0	40	100	
基礎的理解	①②	35	10			45	
応用力(実践・専門・融合)	①				10	10	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	④				10	10	
主体的・継続的学修意欲	①②③④	10	5		20	35	
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・易しい英米の多読図書(Graded Readersや児童書)を授業内外で継続して読む。 ・読む多読図書のレベルを徐々に上げていくようにする。 ・YL1.8までの図書を中心に、日本語に訳さず毎分100語以上の速さで、45分以上継続して読む。 ・基礎的な構文を学習することにより、その定着をはかる。 ・読書記録手帳は毎回必ず持参し、YL、総語数、シリーズ名、感想をきちんと記録すること。 ・授業中やむを得ず席をはずす場合は担当教員に申し出ること。 						
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・「めざせ100万語! 読書記録手帳」(SSS英語学習法研究会) ・パターン・ビルダー 100 総合英語演習(美誠社) ・多読図書(図書館に一万二千冊ほど所蔵) 						

授 業 計 画

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	授業のイントロダクション 多読学習	2	・シラバスを用いて、本年度の授業の到達目標、授業の進め方、評価の仕方などの説明を行う。 ・毎分100語程度の速度で平易な物語文などを授業内外で5000語以上読み、その概要を把握できるようにする。	多読	
2	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 1: 動詞を中心とする構文)を用い、中学校で既習の構文を定着させ、高等学校学習指導要領に示されているレベルの構文を習得する。 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
3	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 2: Itを中心とする構文1)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
4	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 3: Itを中心とする構文2)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
5	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 24: 名詞・代名詞を中心とする構文)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
6	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 5: 助動詞を中心とする構文)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
7	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Review) ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
8	中間試験	1	構文		
9	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 6: 不定詞を中心とする構文1)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
10	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 7: 不定詞を中心とする構文)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
11	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 8: 分詞を中心とする構文)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
12	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 9: 分詞を中心とする構文)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
13	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 10: 動名詞を中心とする構文)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
14	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Lesson 11: 動名詞を中心とする構文)の解答・解説 ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
15	構文 多読学習	2	・パターン・ビルダー (Review) ・授業内外で5000語以上の多読を行う。	構文 多読	
16	構文	1	・パターン・ビルダー (Review)	構文	
期末	期末試験	[1]	構文		
16	多読学習	2	・授業内外で5000語以上の多読を行う。	多読	
17	小テスト 多読学習	2	・小テスト1(読解問題)にて、毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できたか確認する。	多読	

18	プレゼン 多読学習	2	・プレゼン(1)により、前もって準備をすれば毎分100語程度の速度で約2～3分間の口頭説明ができるようになる。またその内容を聞いて理解できるようになる。 ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
19	小テスト 多読学習	2	・小テスト2(読解問題) ・プレゼン(2) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
20	プレゼン 多読学習	2	・プレゼン(3) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
21	小テスト 多読学習	2	・小テスト3(読解問題) ・プレゼン(4) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
22	小テスト 多読学習	2	・小テスト4(読解問題) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読	
23	小テスト 多読学習	2	・小テスト5(読解問題) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読	
24	プレゼン 多読学習	2	・プレゼン(5) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
25	小テスト 多読学習	2	・プレゼン(6) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
26	プレゼン 多読学習	2	・小テスト6(読解問題) ・プレゼン(7) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
27	小テスト 多読学習	2	・プレゼン(8) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
28	多読学習	2	・小テスト7(読解問題) ・プレゼン(9) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
29	小テスト 多読学習	2	・プレゼン(10) ・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読 プレゼン準備	
30	多読学習	2	・授業内外で6000語以上の多読を行う。	多読	
期末	期末試験	[1]	読解		
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①					
②					
③					
備考欄					